



認知症の種類

認知症には主に4つのタイプがあります。

※アルツハイマー型認知症

原因は不明ですが、脳の神経細胞の中に異常なたんぱく質がたまり、脳の神経細胞が徐々に減っていく進行性の病気です。最も多い認知症です。

※主な症状※

もの忘れ(記憶障害)

○新しいことが覚えられない

○体験自体を忘れる

○物の置く場所がわからず探し回る

○約束を忘れてしまう

時間や場所がわかりにくくなる(見当識障害) など

※脳血管性認知症

脳卒中、高血圧、脂質異常症などによって、脳の血管が詰まったり、破れたりすることが原因でその部分の脳の神経細胞が死んだり、神経のネットワークが壊れてしまう病気です。

※主な症状※

○まだら状の症状(できる部分とできない部分がある)

○障害の部位によりますが、抑うつ状態や自発性のあるいは意欲の低下、手足の麻痺、感情障害などの神経症状を伴うこともある。

※レビー小体型認知症

原因は不明ですが、脳の中にレビー小体という特殊な物質がたまることにより起こる進行性の病気です。

※主な症状※

○認知障害に加え、リアルな幻覚、特に幻視(実際には見えないものが現実にあるものとして見える)が初期からある。

○認知機能が1日のうちで変動しやすく、時間や場所、周囲の状況に対する認識や会話した際の実理解力がよい時と悪い時の差がある。

○身体や表情が硬くなる、手の震えなどのパーキンソン症状。

※前頭側頭型認知症

脳の中の前頭葉と側頭葉の神経細胞が少しずつこわれていく病気です。

※主な症状※

○初期は記憶障害や見当識障害は保たれることが多い。

○遠慮がなくなる、きれい好きでなくなる、暴力的になるなどの性格の変化がみられる。

○抑制がきかなくなり、万引きや信号無視など逸脱行動をとる。

○常同行動→同じルートや毎回通らないと気が済まなかったり、同じ言葉や行動を繰り返す。

※その他、頭部のケガや病気などさまざまな原因で発症します。

